

別表第1（第5条関係）

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 20 年度

【事務事業の基本的事項】

事 務 事 業 名	健康増進施設管理運営費				
担 当 課 係 名	生涯学習課		社会体育係	作成者	草薨 正勝
総 合 計 画 で の 位 置 づ け	施策の大綱	明日を担う人材を育む教育文化のまち			総合計画の ページ
	基本計画	スポーツ活動の推進とスポーツ施設の整備			
	主要施策	スポーツ施設の整備、管理			97
予 算 費 目	一般 会計	10 款 教育費	6 項 保健体育費	2 目 体育施設費	
事 業 期 間	平成 年度 ～ 平成 年度		新規／継続の区分		継続
性 質 区 分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根 拠 法 令 等	仙北市農林業者等健康増進施設条例・仙北市農林業者等健康増進施設管理規則				
事 務 区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運 営 方 法	☒ 直 営 ☐ 直営（一部民間委託） ☐ 民間委託(全部) ☐ 補 助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 （誰のため・何を）	市内の住民
事業の目的・意図 （どういう状態にしたいのか）	農林業者等の体力増強及び相互の連帯感を高め、心身の健全な発達と農林業の中核的担い手の育成に寄与する。
事業の内容 （どのような業務、活動を行うのか）	施設の維持管理修繕及び貸出・利用者調整等をおこなう。

【事務事業の推移】

	項 目			単位	18年度実績	19年度実績	20年度実績	
効果	活動指標	建物施設（体育館）・ 広場施設（野球場） 延べ利用可能日数	目標	日	551	551	551	
			実績	日	551	551	551	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
	成果指標	建物施設・広場施設 延べ利用稼働日数	目標	日	551	551	551	
			実績	日	298	241	313	
			達成度	%	54.1%	43.7%	56.8%	
投下コスト	項 目		総事業費		18年度決算額(千円)	19年度決算額(千円)	20年度決算額(千円)	
	事業費（人件費を除く）(A)				3,532	3,201	3,626	
	人 件 費 (B)		—		2,356	2,421	2,378	
	職 員 数		—		0.30	0.30	0.30	
	職 員 平 均 人 件 費		—		7,853	8,071	7,925	
	(A) + (B) 投下コスト				5,888	5,622	6,004	
	財源内訳	国 庫 支 出 金						
		県 支 出 金						
		地 方 債						
		そ の 他				13	29	3
		一 般 財 源				5,875	5,593	6,001
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—		10,686	10,203	10,897
		市民1人当たりのコスト(円)		—		185	179	193

【事務事業の今までの成果】

スポーツによる地域住民の交流の場となっている。
合併により以前使用していない地域の人が少しではあるが利用するようになった。
利用の大部分が学校のクラブ活動の利用である。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	総合体育館等の利用価値の高いものが増え、小規模の古くなったものは少なくなっている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	施設は大変良いが、利用するには遠いので利用できない。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性	判 定 に 至 っ た 理 由
C 2	A 現状のまま継続（実施）	社会体育施設で有りながら、利用の大部分が学校クラブ活動の利用のため。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

- ・地域住民（中学校クラブ活動親の会等）の運営委員会を組織し、管理をお願いする。
- ・施設の貸出・修繕等については桧木内支所でおこなう。
- ・経費節減、敏速な対応が出来ると思われる。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B 2	施設に対する市民のニーズは高く、今後も必要な事業ですが、効率的な管理運営を目指し今後も一層の改善に取り組むべきと考えます。

一次評価診断図

